



【29年度はこんなことします】(平成29年5月~)

5月	<ul style="list-style-type: none"> ・維新ふるさと館古書店(~8日) ・PTA講座(21日) ・第1回歴史講座「西郷隆盛と島津斉彬」(27・28日) ・〈春〉維新ふるさとCafé(6月30日まで毎日開店)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回歴史講座(23・24日)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子歴史講座(29日) ・企画展「西郷どんの顔」(1日~31日)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員歴史講座(9・10日) ・自由研究 歴史の質問引き受けます(毎週水曜日) ・夏休み期間中 19時まで開館時間延長 (7月22・29日、8月5・11・12・13・26日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展(23日~10月29日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・維新ふるさと館1階リニューアル工事(~12月)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回歴史講座 ・維新ふるさと館古書店 ・〈秋〉維新ふるさとCafé
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回歴史講座 ・歴史シンポジウム(3日)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新春寄席 ・維新ふるさと館リニューアルオープン
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回歴史講座
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回歴史講座
各月	<ul style="list-style-type: none"> 6・7・9・10・11・12月(各月第3土曜日実施) 「西郷どん」史跡めぐりバスツアー

※講座、バスツアーは申し込みが必要です。※日程等、変更になる場合があります。



西郷ぼん(本)フェア開催中

《今季のお薦め》

天璋院篤姫嫁入り問題は、幕府と島津家が仕組んだ策謀だったのでしょうか。西郷隆盛への島津斉彬密命とは…西郷隆盛を中心に、鹿児島を舞台に活躍する男たちに迫る、芳即正「鹿児島史話」近世史重鎮の渾身作です。

是非、この機会に維新ふるさとショップ書籍コーナーまで足を運んでみてはいかがでしょうか。維新ふるさとショップには、西郷や明治維新関係の書籍が36種類ほど揃っています。

●初版は平成18年発行



温故地新

ふる故きを温ね、地元を新たに。

■社内研修に当館ご利用を

明治維新150年、大河ドラマ「西郷どん」放送まであと少し。観光客へのおもてなしに役立てようと当館で研修をする企業が多くなってきました。2つを語る上のキーワード、郷中教育、西郷と大久保、西南戦争等、今一度学びませんか？歴史解説員の講話も「分かりやすく、歴史がこんなに面白い」と好評です。



●出前講座もご相談を

■維新ふるさと館リニューアル予定

今年度、当館1階の歴史探訪・郷中教育コーナーを中心に大幅リニューアルをします。リニューアルの進捗状況は随時ホームページ等でお知らせします。ご期待ください。

■年間パスポート、新しくなりました

平成18年から始まった年間パスポート。開始から11年目の今年、開館記念日(4月29日)からデザインを一新。

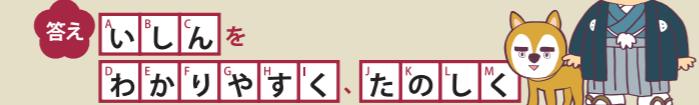
新しい年間パスポートは人気の当館キャラクター「夕カ」と「トシ」が描かれています。2回分の入館料で入館できるだけでなく、年6回開講予定の歴史講座等にも利用できる年間パスポート。ぜひご活用ください。(大人600円・こども300円)



●新しい年間パスポート

■明治維新偉人クロスワード

100名あまりのご応募、ありがとうございました。



明治維新を分かりやすく、楽しく ISHIN 維新

維新ふるさと館情報紙
【No.21】

■平成29年(2017年)春季号
■発行:鹿児島市維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800
<http://www.ishinfurusatokan.info>

死の淵をさまよった月照との入水事件



西郷隆盛蘇生の家(鹿児島市吉野町)



国道10号線の磯街道花倉
に、藁葺の「西郷蘇生の家」
が残されている。

西郷は安政5年(1858年)7

月、島津斉彬の急死を聞き殉死を決意した。しかし、清水寺成就院の僧月照から、「斉彬公の遺志を実現することこそ務め」と強く諭され、殉死を思い留まった。

やがて二人は「安政の大獄」で幕府に追われる身となり、西郷は近衛家から月照の保護を依頼され、薩摩に連れてきたが、藩は幕府に気を遣い「日向送り」とした。「日向送り」とは、日向の薩摩藩領を出た所で斬る処刑の一つであった。

悲観した二人は同年11月16日の夜、宿舎の「俵屋」にて入水を約束、従者とともに船で日向を目指した。船が龍ヶ水沖にさしかかったとき、西郷と月照は満月の花倉沖に身を投じた。西郷は幸いにも蘇生し坂下長右衛門の家で介抱された

が、月照は帰らぬ人となった。藩は「二人とも死亡した」と幕府に届け出、西郷を奄美大島(龍郷)に潜居させた。

西郷は、自分だけが生き残ったことを恥じ、何度も死のうとしたが周囲に強く止められた。悩みに悩んだあげく「命永らえたことは、もっと世のため人のために生きよ」ということだと、自らに言い聞かせ生きる道を選んだ。以後、西郷はいかなる危険な情況下にあっても、捨て身で、かつ誠実に事に処した。「天を敬い人を恨まず」という「敬天愛人」に通ずる思想は、入水や遠島など苦しい経験がその淵源となっているのである。

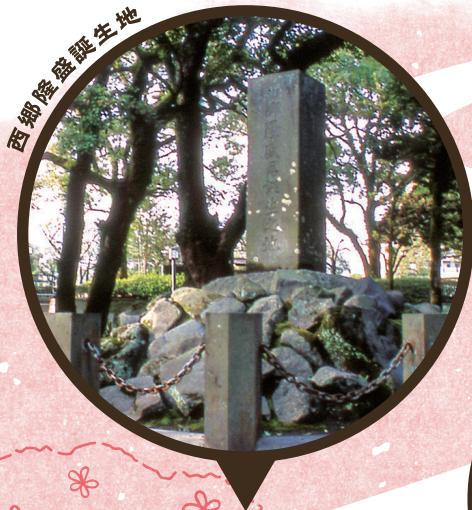
曇りなき心の月も薩摩潟
沖の浪間にやがて入りぬる (月照)

二つ無き道にこの身を捨て小舟
波立たばとて風吹かばとて (西郷)

西郷どんとさるく 温故維新マップ

ふる故きを温ねて 維新を知る

1



「そのまま
地図として
持ち歩けます」

西郷隆盛を生み、
育てたまち

西郷どん（西郷隆盛）は、文政二〇年（一八二七年）
鹿児島城下加治屋町で生まれました。

この加治屋町からは、他にも大久保利通、大山巌、東郷平八郎など、たくさん的人が輩出されました。当時は下級武士たちが暮らす閑静な地域で、西郷家も「御小姓与」という下から数えて二番目に低い家格でした。小さい頃から家が貧しく、下には弟三人妹三人がいる大所帯でしたが、祖父、父母が立て続けに亡くなり、二十六歳の時にはすでに西郷どんは一家の大黒柱でした。体が大変大きくて相撲が強かつたといわれる西郷どんですが、「貧乏は恥ではない。貧乏に負けることが恥なのだ」という母の教えを立派に貫き、布団が十分にない時は自分は足だけ突っ込んで寝るような優しさも兼ね備えていました。

一方で、薩摩藩校「造士館」に大久保利通らと共に通い郷中教育*を受けっていた西郷どん。その帰り道、喧嘩の仕返しに遭い、右腕の神経を切る大怪我を負ってしまいます。

それ以降、西郷どんは生涯右ひじが伸びなくなりました。剣術ができなくなることは当時の武士にとって致命的なことでしたが、不屈の精神で「武術がダメなら学問で身を立てよう」と志を新たにしたのでした。

*郷中教育とは、先輩が後輩を教え導く薩摩独自の青少年教育のこと。

西郷さんが生まれ育ったところを、 さるいてみよう！



1 維新ふるさと館

鹿児島の歴史が一目でわかる「维新ふるさと館」。幕末の薩摩や日本、明治維新を支えた英雄たちの姿を、展示や映像などでわかりやすく紹介しています。



2 西郷隆盛誕生地

※维新ふるさと館近く
甲突川河畔の下加治屋町にあった西郷隆盛の生家跡地。明治時代に公園化され今に受け継がれています。

ひと休みしたら、
もう少しだけ、
足を伸ばして
みませんか？



3 西郷南洲翁宅地跡

※共研公園
イトさんと結ばれた西郷隆盛29歳頃の家。祖父、父母を相次いで亡くし、下加治屋町から移り住んできました。



4 大久保利通生い立ちの地

「大久保利通君誕生之地」とあります。この場所は生い立ちの地です。「维新3傑」の一人として、明治政府の改革を進めました。



A 共研公園

鹿児島中央駅近く。明治2年まで西郷隆盛が住んでいた西郷隆盛宅地跡のある観光スポット。桜や銀杏など四季の移ろいを楽しめます。



B 若き薩摩の群像

イギリスに派遣された薩摩藩英國留学生、薩摩藩の青年藩士17人の銅像「若き薩摩の群像」



C 歴史ロード“维新ふるさとの道”

甲突川沿いに整備された歴史散策スポットです。武家屋敷や薩摩の偉人ゆかりの地など、歴史に想いを馳せながら散歩を楽しむことができます。

